

品質への取り組み

OKIグループは「常にお客様に満足していただける商品を提供する」という品質理念のもと、お客様の満足を得られる商品・サービスを、安全や使いやすさに十分配慮して開発・提供するための取り組みを進めています。

品質改善活動の取り組み

OKIは品質理念のもと、グループ共通の品質方針を掲げ、品質改善活動に取り組んでいます。2019年度は、「品質不正防止」「全員による改善活動」「品質の情報発信」をテーマとして、組織横断の活動を実施します。このうち品質不正防止については、2018年度に出荷検査などにおける承認権限のガイドラインを制定・周知するとともに、不正発生時の影響が大きいと想定する国内5拠点の現場監査を実施しました。引き続き、「どんな職場でも不正は起きる」との認識に立ち、関係部門の全社員に対する書面での確認、生産検査職場を中心とした現場の直接監査に加え、社内報やセミナーによる教育を実施し、品質不正に対する意識向上を図ります。

2019年度OKIグループ品質方針

1. 品質不正防止の徹底
 - 関連法令・規格、お客様との約束、自主基準を遵守します。遵守を確実にするための仕組み構築と自己点検を進めます。
2. すべての職場で改善活動
 - 一人ひとりが「品質の担い手」であることを自覚し、全員参加の品質づくりに取り組みます。
3. 品質活動の情報発信強化
 - 自らの経験だけに頼ることなく他者の経験からも学び、失敗の教訓を活かした未然防止のルール・仕組みを構築します。

製品安全に対する取り組み

OKIは、お客様に安心して製品を使っていただけるよう、「商品安全基本方針」のもと、お取引先との契約に安全要求を盛り込むなど、さまざまな側面から製品安全に取り組み、万一の製品事故発生時にはOKIグループとして連携した対応を取れる体制としています。

製品安全技術の側面からは、電気用品安全法・電気通信事業法・電波法・VCCI規制を「製品安全技術4法」と定め、これらの遵守を徹底するため、OKIの技術責任者をオーナーと



新任管理者研修

するグループ横断の「製品安全技術委員会」によるプロジェクト活動を行っています。具体的な活動の一例として、全部門のリスク保有状況を書面で確認のうえ、リスク保有部門にはエビデンス確認も含めた現地監査を実施しています。また新任管理者に対しては、法令も含めたフォローアップ研修も開催しています。

ユニバーサルデザインの取り組み

OKIグループでは「ユニバーサルデザイン」を、「ユーザビリティ(基本的な使いやすさ)」と「アクセシビリティ(高齢者や障害のある人などへの配慮)」という2つを高いレベルで実現し、すべてのお客様に正しく、効率的に、満足してご利用いただける状態、と定義して、検証実験などを通じて集めた利用者の方々のご意見を商品・サービスに反映しています。主力商品であるATMにおいても、視覚障害者のためのハンドセットによる音声案内や車いす利用者が近づきやすいボディ形状、ユニバーサルデザインフォントの導入など、ユニバーサルデザイン技術を取り入れた操作性の向上に取り組んでいます。

このような考え方を広めるため、組織横断の委員会を作り、この中で国内外の法規制などの最新動向や事例の展開を行っています。2019年度は、高齢者疑似体験セットの装着により不自由さを体感する研修などを計画しています。新人研修においても、ユニバーサルデザインやユーザーエクスペリエンスの考え方を学ぶ単元を設けています。

TOPICS

経済産業省の「IT経営注目企業2019」に選定

OKIは2019年4月、経済産業省と東京証券取引所が共同で実施する「攻めのIT経営銘柄2019」において、「IT経営注目企業2019」に選定されました。これは、「攻めのIT経営」の裾野を広げるため、注目すべき取り組みを実施している企業を、経済産業省が独自に選定するものです。OKIは、IoTを活用して社会課題解決に挑む商品・サービスの提供や、グループ全体で取り組むイノベーション創出活動「Yume Pro」(P17参照)が、SDGsへの貢献の観点からも評価され、選定につながったものと受け止めています。

「攻めのIT経営銘柄2019」
「IT経営注目企業2019」
発表会

